

瀬戸地区 地域福祉活動計画

1. 地区の概要

地区人口	4,031人	民生委員児童委員	13人
65歳以上人口	1,756人	幼稚園・保育所 認定こども園	2か所
高齢化率	43.6%	小・中学校	2校
年少者(0～14歳)人口	298人	令和4年3月31日現在	
人口の増加	△6.8ポイント	鳴門市全体の数値	△6.8ポイント
65歳以上人口の増加	4.5ポイント		2.6ポイント
年少者人口の増加	△16.8ポイント		△15.3ポイント
高齢化率の増加	4.8ポイント		3.3ポイント

※ 数値は平成30年から令和4年までの間の増減を表しています。

2. 地区の現状と課題 (地域座談会で出た意見などをまとめています。)

- 若い世代が地域から出ていき、高齢者が高齢者のケアをしている。
- 放置された空き家が増えており、防災・防犯上の危険を感じる。
- 町内会に加入しない世帯が増えており、地域コミュニティが壊れる不安がある。
- 地域のインフラと言える商店、金融機関、病院などがなくなっている。
- 老人会や婦人会が「いきいき百歳体操」などの回数を増やし、活発に活動している。
- 「コミュニティのつどい」では子どもから高齢者まで多くの人が集まっている。
- 未就学児とその保護者を対象とした「親子ひろば」事業が地域に定着している。
- 老人会で小地域単位での高齢者の見守り活動を続けている。

3. 地区で取り組むこと

全世代が安心して暮らせる街づくり活動を行う

1. 地域の様々な世代や立場の人が集まって「子ども食堂」を実施し、子どもだけでなく地域の方の居場所として機能させる。
2. 中学生に地域の行事などへの参加を促し、地域の一員としての帰属意識を高めてもらう取り組みを進める。
3. いきいきサロン活動の一環として子ども食堂などの事業に関わってもらい、世代間の交流を促進していく。

助け合いによる買い物や外出の支援

1. 市社協の公用車（ワゴン車）を活用した外出支援について、高齢者等への十分な説明を行うことで理解を得るとともに、利用者の意見も聞きながら使いやすい仕組みを考えていく。
2. 隣人への声掛けによる個人的な買い物支援などの小さな「互助」から始め、必要に応じて規模を拡大していく。

地域で安心して暮らしていくための見守り体制づくり

1. 老人会で進めている小地域単位での見守り活動を継続しながら、老人会への加入者を増やしていくことで体制の充実を図っていく。
2. いきいきサロン活動への参加者を増やすことで顔の見える関係づくりを進め、住民相互に見守りができるようにしていく。

